

ま え が き

経済のサービス化と第2次産業の雇用吸収力の低下傾向のなかで、中高年層の雇用促進を図るためには、第3次産業の雇用吸収力に期待せざるを得ない情勢にある。また産業の知識集約化、流通部門の近代化など産業構造の近代化を推進していくためにも第3次産業における必要労働力の確保とその資質の向上が重要な政策課題となっている。

以上のような経済社会の動向の中で公共職業訓練においては、若年層向きの第2次産業基幹職種中心の従来のあり方から第3次産業職種の積極的な開発を含む訓練職種の多様化が要請されるに至った。このため当センターにおいて物流部門、住宅、設備管理部門等雇用増加の期待できる第3次産業部門において中高年層に適した訓練職種の開発を進めることとし、とりあえず開発職種の目途をつけることをねらいとして現行訓練職種の分析、職業紹介機関、業界等に対する予備調査などを行なった。本報告はこの予備的調査研究の中間報告である。